

令和 3 年度 事業報告

自 平成 3 年 4 月 1 日

至 令和 4 年 3 月 31 日

公益財団法人岩手県国際交流協会

I LOVE IWATE

岩手県国際交流協会

「令和3年度事業報告」目次

<概要> 1

<事業活動>

1 地域に根ざした国際理解・交流の推進	3
2 多文化共生の地域づくり	8
3 次代を担う人づくり	23

<管理部門>

1 評議員会・理事会等の開催状況	25
2 業務執行体制等	26
(1) 職員の状況	26
(2) コンプライアンス体制及び職員研修	26
(3) JICA 国際協力推進員の配置	26
3 寄附金及び賛助会員の状況	26
(1) 寄附金の受入れ	26
(2) 賛助会員の入退会	26

令和3年度事業報告

＜概要＞

2021(令和3)年度は、令和元年度を初年度とする長期計画に基づき「地域に根ざした国際理解・交流の推進」、「多文化共生の地域づくり」及び「次代を担う人づくり」の3つの柱に沿って各種事業に取り組み、本県における国際交流・協力・多文化共生の推進に努めた。

この2年間、新型コロナウイルスの影響による在住外国人の一時的な減少はあるものの、現在、政府は入国制限を段階的に緩和しており、留学生はじめ技能実習生等は今後増加が見込まれることから、各地域における国際化の推進や外国人受入体制の整備、外国人相談・情報提供等に取り組んだ。

事業実施に当たっては、新型コロナウイルスの感染防止のため、イベントのオンライン開催や参加人数の制限を行い取り組んだ。

「働く外国人支援プロジェクト、多文化共生地域づくりプロジェクト」では、新たに「地域日本語教育推進事業」を開始し、外国人が自立した生活を送るために必要な日本語能力を身につけられるよう、県内の日本語教育体制の構築を図った。

また、災害時における多言語サポーター育成のための研修、外国人受入れの基盤となる体制の整備促進に努めた。

なお、いわてグローカル人材育成推進協議会では、グローバルキャリアフェアを実施し、外国人留学生等の高度人材の県内就職を支援する取組を行い、若年人材の育成に重点的に取り組んだ。一方、同協議会の海外留学支援については、1名の応募があったものの海外派遣等は見送りとなった。

各プロジェクト推進に係る会議、研修、セミナー等の実施に当たっては、上記記載のとおりオンラインでも参加が可能とし概ね計画通り実施することができた。

3つの柱と6つのプロジェクトにおける主な事業実施の概要は、次のとおりである。

1 「地域に根ざした国際理解・交流の推進」

〈長期ビジョン関連プロジェクト〉

○多文化共生の地域づくり〈ダイバーシティ〉プロジェクト

県の国際交流センターの管理運営を受託し、アイーナ入居団体や在住外国人等との連携による交流イベントや英語コーナーの定期的な実施や様々なテーマでの企画展示など、センター利用者の拡大に努めた。

市町村及び市町村国際交流協会、国際交流関係団体との連携推進を図るため、地域国際化推進会議や国際交流関係団体連絡会議を開催するとともに、「いわて国際交流・国際協力、多文化共生リソースバンク」を通じた情報提供、地域国際化人材育成研修、国際交流関係団体等との共催事業などを実施した。

また、多言語のホームページや国際交流情報紙、SNSにより、イベントや生活情報、国際交流団体の活動情報、新型コロナウイルス関連情報等について発信した。

また、県内の国際交流団体が行う県民参加型の国際交流・協力・多文化共生の活動及び日本語教室の運営経費の一部を助成した。

2 多文化共生の地域づくり

〈長期ビジョン関連プロジェクト〉

- 働く外国人支援プロジェクト、
- 多文化共生の地域づくり(ダイバーシティ)プロジェクト

外国人との交流会や「2021 ワン・ワールド・フェスタ in いわて」においては、2年ぶりに対面で開催し、規模は縮小となったが在住外国人等と連携・協働により国際交流・国際協力、多文化共生について、広く県民に普及啓発を図った。

また、JICA 東北や県内フェアトレード団体等と連携し「身近な国際協力～世界フェアトレード・デー～」フェアを実施し国際協力の意識啓発を図った。

併せて、外国人と共生するまちづくりをテーマに多文化共生地域づくりセミナー やワークショップを開催し、地域の国際化を考える契機とした。

「いわて外国人県民相談・支援センター」の運営では、中国語、ベトナム語のほか英語、韓国語の専門相談員を配置し、在留資格などの行政手続や医療、福祉、家庭内の問題等幅広い相談に対応するとともに、地域巡回相談により県内企業等を訪問しての情報収集・提供など外国人労働者等の相談・支援の取り組みを行った。

また、ウクライナ支援のため、令和4年3月14日（月）に国際交流センターに募金箱を設置するとともに、同日より、ウクライナ避難民の受入に関する相談窓口を開設した。

このほか、多様化する外国人ニーズへの対応として、地域日本語教育の推進のため、岩手地域日本語教育コーディネーターを中心に、「いわて日本語学習コンテンツ」の普及に努めるとともに、研修会等を通じて日本語学習支援者の能力向上を図り、新たな担い手を育成した。

また、地域日本語教育専門人材を養成するため、岩手県・秋田県・山形県の「なか東北連携」による連携協定を締結した。

併せて、災害時に多言語支援を行うサポーターの育成研修や実践訓練、医療機関等での外国人患者受入がスムーズに行われるよう電話医療通訳の導入や外国人無料相談会を行った。

3 次代を担う人づくり

〈長期ビジョン関連プロジェクト〉

- グローカル人材育成プロジェクト
- 外国人留学生等就職活動支援プロジェクト

海外研修及び県内企業でのインターンシップの経験を活かして、地域に貢献する「グローカル人材」の育成に努めることとしていたが、新型コロナウイルスの影響により、海外留学を希望する学生が1名のみで結果的に海外派遣等は見送りとなった。

また、「いわてグローカル人材育成推進協議会」では、外国人青年や外国人留学生等のグローバル人材の県内企業への就職を支援するキャリアフェアを実施した。

なお、インターンシップ、企業訪問は、新型コロナウイルスの急拡大に伴う岩手警戒宣言発令により実施が見送りとなった。

<事業活動>

1 地域に根ざした国際理解・交流の推進

注)各施策の番号は“いわてビジョン2019”の施策番号に対応。

①施策1－1 地域国際化人材育成研修の実施（県補助）

地域の国際化、多文化共生を担う人材を育成するため、市町村及び市町村国際交流協会職員等を対象に、国際交流・多文化共生の現状と課題、外国人に関わる諸制度等、国際交流・多文化共生に係る基礎的知識について学ぶ研修会を開催した。

【オンライン】

	日時・プログラム	講師	参加者数
第1回	令和3年6月30日(水)13:30～15:00 ZOOMウェビナー 「県内の多文化共生　外国人労働者の受け入れ状況　企業巡回から考える」	県国際交流協会 地域巡回相談員 佐藤日出海	50名
第2回	令和3年7月8日(木)13:30～16:00 ZOOMミーティング 「国際交流協会が考える日本語学習支援ロードマップについて」 「在住外国人への生活支援としての日本語学習サポート　演習」	県国際交流協会 主査 大山美和 日本語コンテンツ 作成メンバー 藤波大吾氏	32名



第2回「在住外国人への生活支援としての日本語学習サポート　演習」
オンラインでの演習の様子

②施策1－2 地域国際化推進会議の開催

県との共催により、市町村及び市町村国際交流協会が地域における多文化共生・国際化推進の観点から、課題の共有や連携を強化し、取組みの活性化を図るための会議を開催した。

【オンライン併用】

実施状況

県央広域振興圏	日時	令和3年5月18日(火)14:00～15:30
	場所	アイーナ5階　会議室501
	参加者	9市町、8協会、1広域局　30名
県南広域振興圏	日時	令和3年5月25日(火)13:30～15:00
	場所	奥州地区合同庁舎　分庁舎3階　大会議室
	参加者	6市町、7協会、1広域局　30名

沿岸広域振興圏	日時	令和3年5月26日(水)13:30~15:00
	場所	釜石地区合同庁舎 大会議室
	参加者	7市町、5協会、1広域局 23名
県北広域振興圏	新型コロナウイルスの感染拡大により中止	



盛岡広域圏 オンライン併用による会議の様子

③施策2-1(施策15) いわて国際化人材の登録・活用

在住外国人・日本人とともに、通訳・翻訳や文化紹介等多様な分野で対応できる方々を登録し、通訳や国際理解講座などの講師紹介依頼があった際に紹介を行った。

- 登録者 個人329人、団体3団体、依頼件数37件、活用件数30件、キャンセル3件
(前年度 個人306人、団体3団体、依頼件数34件、活用件数21件)

④施策2-2 ホストファミリーの登録・活用

新型コロナウイルスの影響により海外との往来がない状況となっていることから、ホームステイ等の受入れはなかった。

- 登録者 82家庭、活用0件(前年度79家庭)

⑤施策3-1(施策13、14、16、22) 多言語ホームページによる情報提供

ホームページやブログ、フェイスブック、ツイッターを通じて日本語、英語及び中国語で各種情報提供を行った。

- ホームページの来訪者数 370,766件(前年度237,838件) *トップページアクセス数
- ホームページ情報提供件数 370件(前年度535件)
- SNS、メーリングリスト情報提供件数 539件(前年度1663件)

⑥施策3-2 多言語の国際交流情報紙の発行

日本語、英語及び中国語の国際交流情報紙を年4回発行した。

- 発行部数 2,700部/回 合計10,800部

発行	特集
2021/6(夏号)	わたしたち、留学生大使です!
2021/9(秋号)	ワン・ワールド・フェスタ in いわて
2021/12(冬号)	寒い日の、あったかい交流
2022/3(春号)	日本語教育における課題解決へ向けて



⑦施策3－3 国際交流・協力・多文化共生に関する図書・情報の収集・提供

外国語も含めた蔵書やビデオ・DVD の教材等、国際交流関連の情報の収集・提供を行った。

- ・蔵書等のデータベース登録 7,065 冊（前年度 7,116 冊）
- ・資料収集国 190 か国（前年度 190 か国）
- ・国別ボックス 30 箱/57 か国（前年度 30 箱/57 か国）
- ・民族衣装 27 か国/69 セット（前年度 27 か国/69 セット）

⑧施策3－4 いわて国際交流・国際協力、多文化共生リソースバンクの運用

県内各地で国際交流・国際協力、多文化共生の効果的・効率的な取組を進めるための情報の共有や活用を図ることを目的として、リソースバンクを運用した。前年度の情報掲載以降の県内各市町村・市町村国際交流協会等の開催イベント、情報紙などの情報ファイルを追加掲載するとともに、外国人支援に役立つ情報の提供をした。

- ・アクセス件数 14,418 件（前年度 10,788 件）
- ・掲載サイト <https://www.iwate-resource-bank.jp/>

⑨施策4－1 国際交流センターの運営(県委託等)

岩手県から委託を受けて、国際交流センターにスタッフ 5 名を配置し、国際交流や多文化共生に係る情報提供、県民と外国人との交流を図る国際交流・国際協力活動等の拠点施設としてセンター利用者への対応等を行った。

なお、センター利用にあたっては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、入口での検温、消毒、窓口での利用票（氏名、連絡先）記入やマスク着用、長時間の会話、不要な大声を出さない、飲食禁止などを徹底した。

なお、座席数については対面とならないよう制限するとともにアクリル板を設置した。

- ・来館者数 65,509 人（前年度 71,454 人）
- ・ホームページアクセス件数 370,766 件（前年度 237,838 件）
- ・情報提供件数 1,604 件（前年度 2,809 件）

⑩施策4－2 国際交流センター内の企画展示

展示コーナーを活用し、年間を通じて時宜をとらえた各種企画展示を行った。

	期 間	テ マ
1	5月2日～6月26日	フェアトレード展
2	6月27日～8月13日	いわて×外国人×アート
3	8月17日～10月11日	“もったいない”を考える
4	10月17日～1月3日	世界の行事写真展
5	1月8日～2月27日	JICA 海外協力隊活動紹介展示
6	2月28日～3月6日	チェコと日本、交流100周年バナー展示
7	3月9日～（4月22日）	世界のおいしいレシピ

⑪施策 5－1 国際交流関係団体連絡会議の開催

国際交流関係団体の活動活発化に向けた意見交換、情報交換を行った。

【オンライン併用】

- ・開催日 令和4年2月17日(木)
- ・会場 アイーナ会議室803
- ・内容 令和4年度岩手県国際交流協会予定事業説明及び各団体の活動状況等に係る意見交換
- ・参加者 35団体39人(前年度37団体50人)



オンライン参加者との意見交換の様子

国際交流関係団体連絡会議登録団体数 117団体(前年度121団体)

分野	団体数
国際理解	16
国際協力	8
日本語教室	6
青少年	13
学校・教育・文化・スポーツ	16
経済・観光	7
二カ国間交流	24
市町村・一般	27

⑫施策 5－2 国際交流関係団体等の活動支援助成

県内の国際交流団体等及び市町村国際交流協会が行う県民参加型の国際交流・協力・多文化共生の活動や事業に要する経費の一部を助成した。

ア 国際交流団体等

- ・助成数 3件、助成総額147千円(前年度 0件、 0千円)

事業名	主催団体	助成額 (総事業費)
滝沢ユネスコ協会市民文化講演会及び滝沢ユネスコ協会設立5周年記念事業	滝沢ユネスコ協会	33,000円 (66,419円)
外国人地域交流支援	岩手県青年海外協力協会	30,000円 (67,660円)
多文化キッズキャンプ22 in 岩手山	いわて多文化子どもの教室 むつみっこくらぶ	84,000円 (240,493円)

イ 市町村国際交流協会

- ・助成数 2件、助成総額99千円(前年度 2件、 73千円)

事業名	主催団体	助成額 (総事業費)
留学生と市民の交流イベント ～We all live in Morioka city!～	(公財) 盛岡国際交流協会	14,000円 (17,756円)
キッズワールドクラブ	(一財) 遠野市教育文化振興財団	85,000円 (197,730円)

ウ 日本語教室

- 助成数 4件、助成総額 268千円（前年度 8件、〃 485千円）

事業名	主催団体	助成額 (総事業費)
(特非) 岩手町国際交流協会 日本語サロン	(特非) 岩手町国際交流協会	80,000円 (116,822円)
日本語教室「いっぽいっぽ」運営事業	日本語教室「いっぽいっぽ」	80,000円 (131,986円)
北上にほんご教室	(一社) 北上市国際交流協会	80,000円 (108,401円)
日本語教室	金ヶ崎町国際交流協会	28,000円 (35,000円)

エ 外国人県民等生活支援

- 助成数 0件、助成総額 0千円

⑬施策6(施策29-2) 国際交流関係団体等との共催事業の実施

「多文化共生地域づくりセミナー」としてセミナーを開催した。

共催：滝沢市教育委員会 後援：滝沢市、滝沢市国際交流協会、滝沢ユネスコ協会

開催日時	会場	テーマ	参加人数
令和3年7月10日(土) 13:30~15:30	ビッグルーフ滝沢 大ホール	在住外国人と考えるピクトグラム	52名

◇ファシリテーター 岩手大学国際教育センター 教授 松岡洋子 氏

◇グループコーディネーター

- 盛岡外国語観光&プライダル専門学校

シェング　トニー アントアヌ氏(フランス)
ハック　ムザメル氏(バングラデシュ)
ベパリー エモデ スモン氏(バングラデシュ)
ラデラス メルローズ ドクトレロ氏(フィリピン)

- 盛岡医療福祉スポーツ専門学校

クバイ レゼリン パティンドル氏(フィリピン)
クルズ ニニヤ グレチェン クルズ氏(フィリピン)
ミラーレ ジョンレイ カストロ氏(フィリピン)

- 盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校

ラマ アシス氏(ネパール)
グエン ティ ティン氏(ベトナム)

2 多文化共生の地域づくり

①施策 8－1　外国人との交流会の開催

県国際交流員や留学生、在住外国人等との協働企画により、定期的に外国人との交流会や、英語コーナーを開設し、参加者の拡大に努めた。

- ・開催回 16 回、参加者 延べ 212 人
(前年度 19 回、参加者 延べ 261 人)



《内訳》

外国人との交流会 開催回数 5 回、参加者 延べ 67 人
英語コーナー 開催回数 11 回 参加者 延べ 145 人

開催日		テーマ	参加人数
1	令和3年4月より毎月第1土曜日（令和4年1月を除く）	（オンライン・対面）英語コーナー	145 人
2	令和3年4月 17日（土）	（オンライン）モンゴルの魅力を探しましょう	15 人
3	令和3年6月 19日（土）	（オンライン）エルサルバドルへようこそ！	12 人
4	令和3年11月 28日（日）	（オンライン）アメリカ・オハイオ州の文化紹介	10 人
5	令和4年1月 22日（土）	（オンライン）Let's talk about Gastown, Vancouver! カナダの文化紹介	16 人
6	令和4年2月 20日（日）	（オンライン）オーストラリアの文化紹介	14 人
合 計			212 人

②施策 8－2 「2021 ワン・ワールド・フェスタ in いわて」の開催

海外在住を含む外国人と連携・協働して国際交流・国際協力、多文化共生について、広く県民に啓発普及を図る「2021 ワン・ワールド・フェスタ in いわて」をアイーナ（盛岡市）及びオンラインで開催した。

なお、新型コロナウイルス感染防止対策のため、入場者数の上限を設定し事前申込とともに、入場に当たっては、新型コロナウイルス感染予防チェックシートの記入を徹底した。



- ・開催日 令和3年11月23日（火・祝）
- ・会場 国際交流センター、オンライン他
- ・参加 493 人（前年度 187 人）
- ・テーマ 誰でも参加できる国際交流のお祭り！

- ・プログラム 世界のサロン、世界の風景
撮影スポット、写真展「私が見た岩手」、世界検定、筆文字アート体験、メッセージカードづくり、外国語のゲーム
“ニヤマニヤマ”、フラワーアートづくりなど15プログラム



③施策8－3 「盛岡さんさ踊り」外国人参加支援

在住外国人が参加し易い環境づくりのため、多言語による練習動画を作成した。

- ・撮影日 令和3年6月12日（土）
- ・言語 英語、中国語、ベトナム語

<英語>



④施策9－1 多文化共生地域づくりセミナーの実施（県補助）

県民が外国人の多様性について認識を深め、外国人と共生するまちづくりについて考える契機とするためのセミナーを開催した。

【再掲】

対象 市町村職員、市町村国際交流協会職員、一般県民等

共催 滝沢市教育委員会

後援 滝沢市、滝沢市国際交流協会、滝沢ユネスコ協会

開催日時	会場	テーマ	参加人数
令和3年7月10日（土） 13：30～15：30	ビッグループ滝沢 大ホール	在住外国人と考えるピクトグラム	52名

◇ファシリテーター 岩手大学国際教育センター 教授 松岡洋子 氏

◇グループコーディネーター

- ・盛岡外国語観光＆ブライダル専門学校

シェング トニー アントアヌ氏(フランス)

ハック ムザメル氏(バングラデシュ)

ベッリー エモデ スモン氏(バングラデシュ)

ラデラス メルローズ ドクトレロ氏(フィリピン)

- ・盛岡医療福祉スポーツ専門学校

クバイ レゼリン パティンドル氏(フィリピン)

クルズ ニニヤ グレチェン クルズ氏(フィリピン)

ミラーレ ジョンレイ カストロ氏(フィリピン)

- ・盛岡情報ビジネス＆デザイン専門学校

ラマ アシス氏(ネパール)

グエン テイ ティン氏(ベトナム)



⑤施策 9－4 「身近な国際協力～世界フェアトレードデー～」の実施

第1回	イベント名	「集まれ中高生！フェアトレードの教室」
	開催日時	令和3年9月26日（日）13:00～16:00
	会場	オンライン（Zoomミーティング）
	内容	・フェアトレードとは？　・先輩との交流 ・映画「もっと！フェアトレード ～世界につながる私たちの暮らし」（2004）上映
	ファシリテーター	JICA東北岩手デスク 菊池真美子 氏
	参加者	17名〔高校生14名、大学生3名（兼グループファシリテーター）〕
第2回	イベント名	「SDGs×フェアトレード」
	開催日時	令和3年11月13日（土）13:00～15:00
	会場	オンライン（Zoomミーティング）※陸前高田市発酵パーク CAMOCY から
	内容	講演会「世界を笑顔にするチョコレート」
	講演者	ロツツ株式会社 代表取締役社長 富山泰庸 氏
	参加者	26名

※共催 JICA（国際協力機構）東北



⑥施策 10 多文化共生地域づくりワークショップの実施（県補助）

外国人の視点から、地域が持つ新たな魅力を創出し、地域の活性化につなげていくため、地域づくりに関心のある方々を対象として、外国人とともに地域の国際化や多文化共生を切り口としたワークショップを開催し、そこで得られたアイディア等をまちづくりや地域活性化につなげていくことを目的として実施した。

対象：多文化共生やまちづくり分野などについて活動する団体・個人、在住外国人など。

ア 大船渡市開催

共催：大船渡市、大船渡市国際交流協会

開催日時	会場	テーマ	参加人数
令和3年7月3日(土) 13:00~15:30	大船渡市防災観光交流センターおおふなぽーと	留学生と考えるピクトグラム	17名

◇ファシリテーター 岩手大学国際教育センター 教授 松岡洋子 氏

◇グループコーディネーター

- ・盛岡外国語観光&ブライダル専門学校 ブラン スンクマル 氏(ネパール)
タマン スワスティカ 氏(ネパール)
ハサン ザヒド 氏(バングラデシュ)
シュレスタ リズ 氏(ネパール)
タマング セテリン 氏(ネパール)
ラマ サミタ 氏(ネパール)



イ 滝沢市開催

後援：滝沢市、滝沢市教育委員会、滝沢市国際交流協会、滝沢ユネスコ協会

開催日時	会場	テーマ	参加人数
令和3年7月10日(土) 10:00~12:00	ビッグルーフ滝沢	留学生と考えるピクトグラム	33名

◇ファシリテーター 岩手大学国際教育センター 教授 松岡洋子 氏

◇グループコーディネーター

- ・盛岡外国語観光&ブライダル専門学校
シェンゲン トニー アントアヌ 氏(フランス)
ハック ムザメル 氏(バングラデシュ)
ベパリー エモデ スモン 氏(バングラデシュ)
ラデラス メルローズ ドクトレロ 氏(フィリピン)
タバ マガル サムジャナ 氏(ネパール)

・盛岡医療福祉スポーツ専門学校

- クバイ レゼリン パティンドル 氏(フィリピン)
クルズ ニニヤ グレチェン クルズ 氏(フィリピン)
ミラーレ ジョンレイ カストロ 氏(フィリピン)

・盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校

- ラマ アシス 氏(ネパール)
グエン ティ ティン 氏(ベトナム)

⑦施策 11 地域日本語教育推進事業（県委託）

地域の一員として、外国人が自立した生活を送るために必要な日本語能力を身に付けられるよう、県内の日本語学習環境の整備を行うことを目的とし、岩手地域日本語教育コーディネーターを中心に、日本語教育の新たな担い手の掘り起こし、教育人材のスキルアップを目的とした日本語サポートー養成研修のオンライン開催や県内の日本語教室を巡回訪問し、教育人材や教室運営者に対するヒアリングや助言等を行った。

また、県民の日本語教育に対する理解促進のため、「やさしい日本語」の啓発普及に努めた。

ア いわて地域日本語教育推進会議の運営

本県における日本語教育支援の取組を総合的かつ効果的に推進するため、外国人支援に関する団体・機関から構成される会議を運営し、本県の日本語教育施策の検討や情報共有を行うため実施した。

第1回

- (ア) 日時 令和3年5月20日(木)14:00~15:30
- (イ) 場所 岩手県教育会館 カンファレンスルーム 200
- (ウ) 参加者数 22名

第2回

- (ア) 日時 令和3年10月26日(火)14:00~15:30
- (イ) 場所 岩手県公会堂 26号室
- (ウ) 参加者数 20名

第3回

- (ア) 日時 令和4年1月21日(金)13:30~15:00
- (イ) 場所 岩手県水産会館中会議室
- (ウ) 参加者数 20名

イ 日本語サポートー養成研修の開催

日本語教育の新たな担い手の掘り起こしやスキルアップ、また「いわて日本語学習コンテンツ」を利用した学習の普及及び定着を目的とし、研修会を開催した。

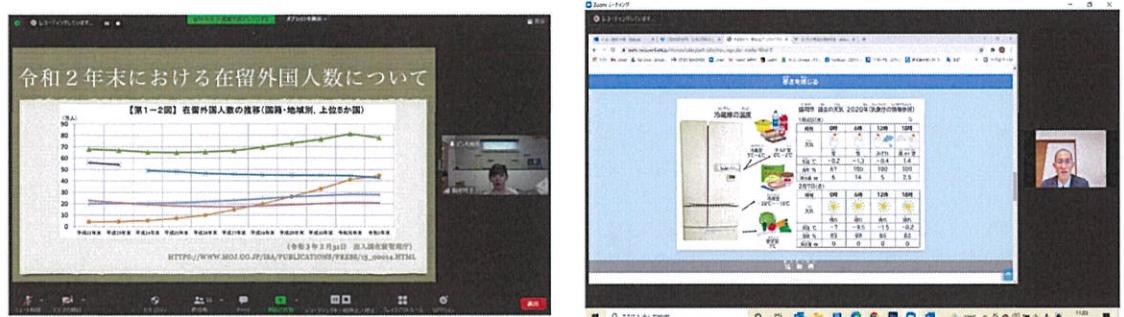
【オンライン】

共催：大船渡市、大船渡市国際交流協会、一関市国際交流協会

後援：一関市、二戸市国際交流協会

	日時・内容	講師	参加者数
第1回	(A日程) 令和3年9月4日(土) 14:00~15:30 (B日程) 令和3年9月18日(土) 10:00~11:30 「日本語サポートーの役割」	岩手地域日本語教育コーディネーター 嶺岸 玲子 氏	(A日程) 41名 (B日程) 29名

第2回	(A 日程) 令和3年9月11日（土）14：00～15：30 (B 日程) 令和3年9月25日（土）10：00～11：30 「日本語学習支援におけるやさしい日本語」	岩手地域日本語教育コーディネーター 嶺岸 玲子 氏 藤波 大吾 氏	(A 日程) 33名 (B 日程) 31名
第3回	(A 日程) 令和3年9月25日（土）14：00～15：30 (B 日程) 令和3年10月9日（土）10：00～11：30 「日本語教材の使い方①」	岩手地域日本語教育コーディネーター 藤波 大吾 氏	(A 日程) 39名 (B 日程) 22名
第4回	(A 日程) 令和3年10月2日（土）14：00～15：30 (B 日程) 令和3年10月16日（土）10：00～11：30 「日本語教材の使い方②」	岩手地域日本語教育コーディネーター 藤波 大吾 氏	(A 日程) 29名 (B 日程) 33名
第5回	(A 日程) 令和3年10月30日（土）14：00～16：00 (B 日程) 令和3年11月6日（土）10：00～12：00 「日本語学習支援の方法」	岩手地域日本語教育コーディネーター 藤波 大吾 氏 土井 夏樹 氏	(A 日程) 35名 (B 日程) 21名



ウ 日本語教室への巡回訪問、相談対応

(ア) 日本語教室への巡回訪問、相談対応

日本語教室における実態や課題把握、課題解決のため、岩手地域日本語教育コーディネーター等が県内の日本語教室を巡回訪問し、状況や課題等について聞き取り及び情報提供等を行った。

- 巡回件数 34 件

(イ) 日本語サポーター交流会の開催【オンライン】

岩手地域日本語教育コーディネーターがファシリテーターとなり、現在日本語サポーターとして活動している方々や、地域の教室などで日本語を指導している方々が、交流したり情報交換したりできる場を提供した。

- 日 時： 令和3年7月31日（土）
- 実施方法： オンライン（Zoom）

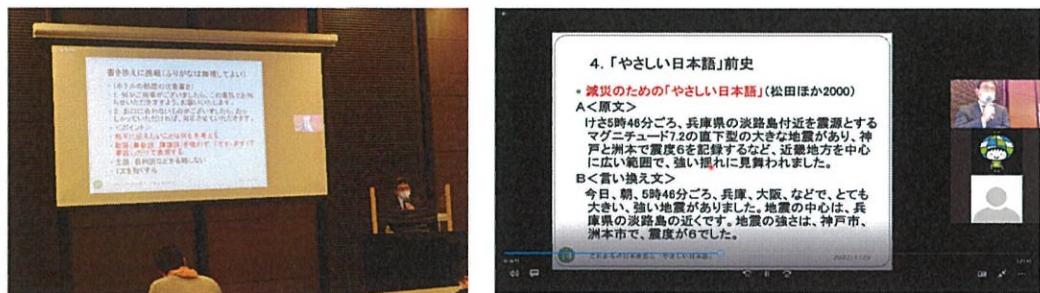
- ・ファシリテーター： 岩手地域日本語教育コーディネーター 嶺岸玲子 氏
藤波大吾 氏
土井夏樹 氏
- ・参加者数： 7人

エ 「やさしい日本語」の普及

(ア) 「やさしい日本語」普及セミナーの開催【オンライン併用】

日本語教育に関する理解促進及び多文化共生に関する理念普及を目的としたセミナーを開催した。

- ・日 時： 令和4年1月29日（土）
- ・会 場： アイーナ 会議室804B
- ・実施方法： 会場・オンライン（Zoom）併用
- ・講 師： 一橋大学国際教育交流センター教授 庵 功雄 氏
- ・参加者数： 44人（会場参加20人、オンライン24人）



(イ) 「やさしい日本語」普及ツールの作成

外国人とのコミュニケーションに有用とされる「やさしい日本語」への理解促進を目的として、県内で配付するためのリーフレット及び要点記載ボードを作成した。

執筆監修：岩手地域日本語教育コーディネーター

嶺岸玲子 氏

作成部数：やさしい日本語リーフレット（クリアファイル付） 3,000部

やさしい日本語要点記載ボード 1,000部

配 付 先：市町村、市町村国際交流協会

県内日本語教室、県内各公共施設、

その他一般県民等



⑧施策12(施策20) 日本語サポーターの登録・育成と活用

ア 日本語サポーターの登録と活用

日本語サポーターの登録と活用により、在住外国人のニーズに対応した日本語学習を支援した。

- ・登録者 144人（前年度117人）
- ・活用 依頼件数29件（内キャンセル1件）、成立24件
(前年度：依頼件数28件、キャンセル2件、成立24件)

イ オンラインサポート研修会の開催

当協会日本語サポーターとして登録・活動している方を対象に、オンラインでのサポートの仕方や教材の使い方について学ぶ場を設けた。

- ・講 師 土井 夏樹 氏（令和3年度岩手地域日本語教育コーディネーター）
- ・受講者数 14名
- ・開催日 令和4年1月22日（土）13：00～15：00
- ・会 場 オンライン（Zoomミーティング）

ウ なか東北連携地域日本語教育人材育成

日本語教育において共通の課題を持つ、岩手・秋田・山形の3県で協力して日本語教育専門人材を養成し、地域の日本語教育の充実を図ることを目的に、岩手大学国際教育センター、国際教養大学専門職大学院グローバル・コミュニケーション実践研究科、山形大学学士課程基盤教育機構、公益財団法人秋田県国際交流協会、山形市国際交流協会、特定非営利活動法人ヤマガタヤボニカと「なか東北連携による地域日本語教育専門人材養成事業に関する連携協定」を締結した。

協定調印式

- ・日時 令和4年2月28日（月） 10：00～10：30
- ・会場 岩手大学他2会場をオンライン接続



⑨施策17 外国人相談の実施 ・ いわて外国人県民相談・支援 センターの運営(県委託)

在住外国人が安心して生活できるよう、在留資格などの行政手続、日本語学習・医療・福祉・子育て・家庭内の問題等に関することなど、幅広い相談に対応するため、外国人相談窓口を設置するとともに、外国人相談専門員を配置し、関係機関とのネットワーク形成を図る連絡会議等を開催した。

ア 相談窓口の設置

相談窓口において生活上の問題をはじめとした幅広い相談へ対応した。

- ・相談件数 546件（前年度 1,123件）（相談専門員による相談、地域巡回相談、外国人専門相談員における相談件数を含む。）

（相談内容の内訳）

年度	日本語学習	住居	教育	医療・保健・福祉	行政手続	その他
令和3年度	30	6	15	106	115	274
令和2年度	76	24	53	171	300	499
令和元年度	8	15	14	64	167	115

イ 相談専門員等の配置

- ・相談マネージャー(1人)

- ・外国人相談・支援専門員(1人)
- ・外国人相談専門員(中国語、1人)
- ・外国人相談専門員(韓国語、1人)
- ・外国人相談専門員(英語、1人)
- ・外国人相談専門員(ベトナム語、1人)

ウ 関係機関との連携

外国人材受入拡大に係る関係機関連絡会議の開催

第1回

- (ア) 日時 令和3年7月27日(火)10:00~11:30
- (イ) 場所 いわて県民情報交流センター(アイーナ)5階 会議室501
- (ウ) 出席団体 10団体、16名

第2回

令和4年2月14日に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の状況に鑑みて中止とし、関係機関から提供のあった資料について送付・共有した。

エ ウクライナ避難民支援

- (ア) ウクライナ支援募金箱の設置(令和4年3月14日)
- (イ) ウクライナ避難民受入に関する相談窓口の開設(上記同)
国(出入国在留管理庁)によるウクライナ避難民受入表明に伴う、一元的相談窓口での情報提供・相談に対応するため、協会では岩手県と連携しウクライナ避難民支援を行うための環境整備を行った。

⑩施策18 地域巡回相談

相談マネージャー、外国人相談・支援専門員及び地域巡回相談員等が、外国人を雇用する企業や日本語教室、市町村国際交流協会等を訪問し、外国人労働者等の状況や課題等について聞き取り及び情報提供等を行った。

- ・巡回件数 56件(前年度 77件)

⑪施策19 外国人定期相談日

岩手県行政書士会及び岩手弁護士会と連携し、無料相談日を開設した。

- ・岩手県行政書士会と連携した相談日

開設数 24回 相談件数 28件(前年度 51回 46件)

- ・岩手弁護士会と連携した相談日

開設数 4回 相談件数 4件(前年度 3回 8件)

⑫施策 21 外国人患者受入体制構築事業（県補助）

ア 在住外国人及び外国人旅行者が医療機関等を受診する際に、言語面での支援が円滑に図られるよう、多言語での逐次通訳が可能な電話医療通訳システムを試行導入し、県内での活用を検討した。

(ア) 電話医療通訳

Medi Phone

- ・言語数：22 言語（英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語、フランス語、ロシア語、ベトナム語、フィリピン語（タガログ語）、タイ語、インドネシア語、ネパール語、ミャンマー語、ヒンディー語、モンゴル語、ペルシャ語、広東語、アラビア語、ラオス語、ウルドゥー語、ベンガル語、台湾語）

・期間：令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日

・登録件数：37 機関・79 回線

・活用実績：27 件

うち、新型コロナウイルス関連 9 件



イ 在住外国人が抱える健康面での不安や悩みの解決に向けて、医療関係機関等との連携を取りながら医療相談会などの開催の支援等を行うことで在住外国人の抱える医療面での課題の把握を進めた。

(ア) 医療相談会の開催

医療関係者や医療関係団体等との連携・協働により、在住外国人を対象とした医療相談会を開催し、在住外国人の抱える医療面での課題の把握を図った。

- ・無料外国人健康診断/医療相談会

協働：Espeyulo

協力：盛岡医療生活協同組合 川久保病院

開催日	受診者数	内訳
令和 3 年 6 月 26 日(土)	4 名	中国 3 名（うち留学生 2 名）、ベトナム 1 名
7 月 24 日(土)	5 名	中国 3 名（うち 3 名）、ベトナム 2 名
10 月 30 日(土)	2 名	中国 2 名
11 月 27 日(土)	4 名	中国 4 名
令和 4 年 2 月 26 日(土)	3 名	中国 3 名※11 月 27 日受診者への結果説明
合 計	18 名	

- ・無料外国人歯科検診/相談会

協働：Espeyulo

協力：盛岡医療生活協同組合川久保病院

開催日	受診者数	内訳
令和 3 年 11 月 20 日(日)	1 名	ベトナム 1 名

⑬施策 23 いわて災害時外国人支援体制の構築（県委託）

災害時における外国人に対応した支援体制を構築するため、災害時の外国人対応等についての研修会、実践訓練を実施するとともに、新たに6人の「災害時多言語サポート一」を認定・登録した。

ア 災害時多言語支援窓口の設置・運営

(ア) 災害時多言語支援窓口設置運営局内訓練

- ・開催日：令和3年12月22日(水)
- ・会場：アイーナ 国際交流センター内
- ・内容：災害時多言語支援窓口設置時の情報発信等に係る業務対応訓練
- ・参加者：職員等16人

(イ) 災害時多言語サポート一実践訓練(研修会)

- ・開催日：令和4年1月23日(日)

第1部 実践研修会 10時00分～12時00分

第2部 英語・中国語での対応練習 13時30分～14時30分

- ・実施方法：オンライン
- ・実施内容：災害時の外国人支援場面での対応についての検討と、それに基づく
英語・中国語での対応練習

- ・参加者：第1部 27人

第2部 英語15人、中国語5人

・講師等

第1部	ファシリテーター	岩手大学国際教育センター教授 松岡 洋子氏
	アドバイザー	危機管理アドバイザー／岩手大学地域防災研究センター客員教授 越野 修三 氏
	オブザーバー	(合)ポリグロットJP クワインラン フェリス氏 (合)ポリグロットJP 照井 里江子氏 外国人相談専門員 陳 茜氏 補助員 尤 雁氏
第2部	英語	(合)ポリグロットJP クワインラン フェリス氏（講師） (合)ポリグロットJP 照井 里江子氏（講師補助）
	中国語	外国人相談専門員 陳 茜氏（講師） 補助員 尤雁氏（講師補助）

イ 県が実施する防災訓練への参加

(ア) 令和3年度岩手県総合防災訓練

日 時： 令和3年9月4日(土)

場 所： 北上総合運動公園

主 催： 岩手県、北上市、西和賀町、北上地区消防組合消防本部

訓練項目： 応急救護所開設・運営訓練

訓練内容： 北上地区消防組合消防本部が実施する土砂崩れにおける救出救助訓練に外国出身者5名を派遣し、外国語での応急救護訓練を実施。

ウ 災害時多言語サポートの登録拡充、育成

令和3年度末登録状況	人数	増減
いわて災害時多言語サポート登録者	40人	+4
令和3年度新規認定者	6人	+6
令和3年度更新者（更新対象者 8人）	6人	-2

(ア) 災害時多言語サポート研修会（基礎研修・応用研修）【オンライン併用】

・実施状況

日 時	実施方法／会場等	実施講座	参加者
令和3年 7月 16 日（金） 10：00～14：30	オンライン	基礎講座1・2 応用講座	基礎：28人 応用：23人
7月 17 日（土） 10：00～14：30	オンライン	基礎講座1・2 応用講座	基礎：20人 応用：22人
7月 18 日（日） 10：00～14：30	オンライン 共催：北上市、北上市国際 交流協会	基礎講座1・2 応用講座	基礎：24人 応用：21人
3日間の参加者（総人数）			76人*

*一部のみ参加や重複参加の方がいるため、合計数とは合致しません

日 時	実施方法／会場等	実施講座	参加者
令和4年 2月 11 日（金・祝） 13：30～15：30	オンライン 共催：一関市	基礎講座2 （「やさしい日本語を活用した災害時の外国人とのコミュニケーション研修会」）	12人

・研修内容、講師

項目	テーマ・講師
基礎講座1	「災害～豪雨・土砂災害への対応～」 危機管理アドバイザー／岩手大学地域防災研究センター客員教授 越野 修三 氏
基礎講座2	「災害時に求められる外国人とのコミュニケーション」 岩手大学国際教育センター 教授 松岡洋子 氏
応用講座	「実践内容に関するケース検討」 危機管理アドバイザー／岩手大学地域防災研究センター客員教授 越野 修三 氏 岩手大学国際教育センター 教授 松岡洋子 氏

エ 語学研修会の開催

(ア) 災害時多言語サポート英語講座

	日時	実施方法／会場	参加者数
第1回	令和3年 10月 24日（日） 13:00～16:00	オンライン	8人
第2回	令和3年 10月 31日（日） 13:00～16:00	さくらホール大アトリエ(北上) オンライン	9人
総参加者数			17人

委託先： 合同会社ポリグットJP

講 師： クウェインラン フェリス氏、照井 里江子氏（合同会社ポリグットJP）

(イ) 災害時多言語サポート中国語講座

日時	実施方法／会場	参加者数
令和3年11月27日(土) 13:00～16:00	オンライン	12人

講 師： 外国人相談専門員（中国語） 陳 茜 氏

オ 市町村等の取組への支援に関すること

(ア) 市町村等の取組への支援

- ・ 公益財団法人盛岡国際交流協会

令和3年度ボランティア研修会 もりおか「やさしい日本語」入門研修

日 時：令和3年11月13日(土) 10:00～12:00 オンライン

令和3年11月27日(土) 9:30～11:30 岩手県立総合防災センター

講 師：岩手大学国際教育センター教授 松岡 洋子 氏

協力者：外国籍住民 2名

- ・ 一関市 職員向け「やさしい日本語」研修会

日 時：令和3年12月14日(火) 13:30～15:00

会 場：一関市役所大会議室

講 師： 岩手大学国際教育センター教授 松岡 洋子 氏

(イ) やさしい日本語研修会

- ・ やさしい日本語研修会

日 時：令和3年9月16日(木) 13:30～15:00

実施方法：オンライン（Zoom）

講 師：自治体国際化協会 地域国際化推進アドバイザー 松本 義弘 氏

内 容：行政からの情報発信を中心とした具体的な取組事例から、災害時の
みならず平時からのやさしい日本語の実践について学ぶ。

参加者数： 52人

- ・ やさしい日本語研修会 in 北上

日 時：令和3年12月1日(水) 14:00～15:30

実施方法：オンライン（Zoom）

※北上市での開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の
ためオンラインに変更。

講 師：岩手大学国際教育センター教授 松岡 洋子 氏

内 容：外国人にもわかりやすい「やさしい日本語」の基礎を学ぶ。

参加者数：36人

⑯施策 25 外国人労働者受入体制推進事業

外国人労働者の増加を想定し、外国人労働者や受入企業等が抱えるニーズや課題の解
決に向けた取組を進めるため、市町村国際交流協会等と連携して地域住民に対する外
国人労働者の受け入れ理解の促進を図る機会等を創出した。

ア 地域との交流機会の創出

市町村や市町村国際交流協会等との連携により、外国人労働者と地域住民との

交流機会を創出し、相互理解を進めることで、外国人労働者が地域で活躍できる地域づくりを進めた。

(ア) 二戸市開催 〈協働〉二戸市国際交流協会

日時：令和3年9月26日(日) 9:00～14:30

会場：生きいき交流センター(二戸市堀野)

参加：実習生3名(フィリピン)、日本語ボランティア1名、着付けボランティア2名、二戸市国際交流協会事務局2名

内容：うちわ作り体験及び浴衣着付け体験などの文化交流を行った。

日時：令和3年11月28日(日) 9:00～13:30

会場：生きいき交流センター(二戸市堀野)

参加：実習生9名(中国7名、ベトナム2名)、ALT1名(フィリピン)、福岡高校茶道部生徒8名、日本語サポートー6名、茶道講師2名、二戸市国際交流協会事務局2名

内容：高校生茶道部のマンツーマン指導による茶道体験を通じた交流を行った。



(イ) 釜石市開催

協働：釜石日本語教室 桜会

日時：令和3年10月24日(日) 10:00～12:00

会場：青葉ビル 研修室(釜石市大町)

参加：実習生9名(ベトナム)、在住外国人2名、日本語ボランティア3名、釜石市国際交流協会会員2名、釜石市国際交流課職員2名

内容：無地のうちわへ筆ペンで好きな言葉を日本語で書く体験を通じて交流を図った。



(ウ) 紫波町開催

協働：紫波町国際交流協会

日時：令和3年11月14日(日) 9:00～15:30

会場：長岡果樹園、紫波フルーツパーク、山王海ダムなど(紫波町内)
参加：実習生 20 名(ベトナム 14 名、フィリピン 6 名)、紫波町国際交流
協会会員 8 名
内容：りんご狩りやピザ作り体験、町内巡りを通じて交流を図った。



(エ) 大船渡市開催

協働：大船渡市国際交流協会
日時：令和 3 年 12 月 5 日(日) 10:00～15:30
会場：碁石海岸インフォメーションセンター、大船渡市防災観光交流セン
ターおおふなぼーと 多目的室(大船渡市)
参加：実習生 9 名(中国 6 名、ベトナム 3 名)、大船渡市国際交流協会会員
11 名
内容：クリスマスクラフトづくり体験及び多文化カフェで交流を図った。

(オ) 一関市開催

協働：一関市国際交流協会
日時：令和 3 年 12 月 19 日(日) 10:00～14:30
会場：一関市川崎市民センター(一関市川崎)
参加：実習生 14 名(フィリピン 10 名、ベトナム 4 名)、一関市国際交流
協会会員など 56 名
内容：「いちのせき国際交流フェスティバル」において各国ブースでの母
国紹介などで交流を行った。



3 次代を担う人づくり

①施策 29－2 職業体験の受入れの実施

県内学校等の依頼に応じ、小学生から大学生までの学生のインターンシップ・プログラムの受入れを行った。

・受入実績 6 校 1 社、32 人（前年度 10 校、27 人）

依頼先	内容	受入期間	人数
岩手県立花巻北高等学校	センター紹介	令和 3 年 5 月 19 日	11 人
株式会社ヨモヤ商店	センター紹介	令和 3 年 6 月 29 日	3 人
北海道小樽市朝里中学校	センター紹介	令和 3 年 7 月 19 日	6 人
盛岡医療福祉専門学校	センター紹介	令和 3 年 7 月 20 日	9 人
岩手大学	センター紹介	令和 3 年 7 月 25 日	1 人
盛岡第一高等学校	センター紹介	令和 3 年 7 月 30 日	1 人
花巻北高等学校	センター紹介	令和 3 年 10 月 2 日	1 人

②施策 30 「いわてグローカル人材育成推進協議会」事業の運営（県委託）

ア 「いわて協創グローカル人材育成プログラム」募集・審査にかかる業務の実施
参加者を募集し応募者が 1 人あったが、第一次審査の結果不採用となり、以降の
令和 3 年度の派遣にかかるスケジュールは中止となった。

イ グローバルキャリアフェア及び外国人を対象としたインターンシップの実施
外国人青年や留学生等のグローバル人材の県内企業への就職を支援するため、キ
ャリアフェア及びインターンシップを実施した。

(ア) グローバルキャリアフェア 事前オリエンテーション

実施日：令和 3 年 11 月 13 日（土）

会 場：アイーナ 5 階 会議室 501

参加人数：9 名（6 か国）

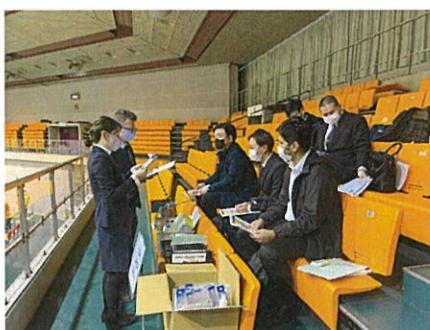
(イ) グローバルキャリアフェア

実施日：令和 3 年 11 月 20 日（土）

会 場：岩手産業文化センター（アピオ）

参加企業：35 企業・団体

参加者数：8 名（8 か国・地域）



ウ　外国人や海外経験を有する日本人学生等と企業とのワークショップ等の開催
留学支援事業による派遣学生をはじめとする海外留学に关心の高い日本人学生並
びに外国人留学生等のグローバル人材と県内企業との「つながり」の場を創出し、
グローバル人材と県内企業等との相互理解促進を深める機会を提供するため計画し
た。

- ・(開催予定) 令和4年2月7日(月) 10:00～12:00
- ・(会場予定) 盛岡地域交流センター・マリオス 18階 会議室188
- ・(申込人数) 15名 ※新型コロナウイルス感染拡大のため急遽中止。

③施策31 私費外国人留学生支援奨学金支給(県補助)

私費外国人留学生に月額2万円の奨学金を支給するとともに、「いわて留学生大使」に委嘱し、当協会の活動をはじめ、県内各地で行われた国際交流活動や県内就職に関するフォーラム等に積極的に参画した。

- ・受給者 10人 国際交流等活動実績 延べ 136件
[内訳] 岩手大学大学院生4人、岩手大学学部学生5人、一関工業高等専門学生1人
(前年度 8人 国際交流等活動実績 延べ 113件)

④施策32 海外研修員等のサポート(県委託)

国内外の新型コロナウイルス感染拡大のため、海外自治体職員研修員及び海外技術研
修員の県からの業務委託は中止となった。

<管理部門>

1 評議員会・理事会等の開催状況

理事会、評議員会、評議員選定委員会の開催状況は、次のとおりである。

開催日	会議名	会議の概要
令和3年 4月1日(木)	第39回理事会	決議事項 1 理事長の選任及び報酬月額の決定について 2 常務理事の選任及び報酬月額の決定並びに事務局長事務取扱の任命について
5月27日(木)	評議員選定委員会	決議事項 1 評議員の選任について
6月10日(木)	第40回理事会	決議事項 1 令和2年度事業報告及び附属明細書の承認について 2 令和2年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認について 3 定時評議員会の招集について
6月29日(火)	第14回評議員会	決議事項 1 令和2年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認について 2 理事の選任について
6月29日(火)	第41回理事会	決議事項 1 理事長の選任及び報酬月額の決定について 2 常務理事の選任及び報酬月額の決定並びに事務局長事務取扱の任命について 3 評議員選定委員会委員の選任について
8月12日(木)	第15回評議員会 (書面表決)	決議事項 1 監事の選任について
11月18日(木)	第42回理事会	協議事項 1 評議員選定委員会委員の選任について 報告事項 1 職務の執行状況について 他
令和4年 3月16日(水)	第43回理事会	決議事項 1 令和4年度事業計画及び收支予算書の作成について 2 県出資等法人に係る中期経営計画書（令和元年度～令和4年度）の作成について 3 事務局規程の一部改正について

2 業務執行体制等

(1) 職員の状況

令和3年度末の事務局職員数は、常勤職員10名、非常勤専門員1名、非常勤相談員4名（委嘱を含む。）、非常勤補助員6名である（事務局長事務取扱役員を除く）。

(2) コンプライアンス体制及び職員研修

理事長及び常務理事からの訓示のほかコンプライアンス関連規程の「職員の営利企業等従事（兼業）許可に関する基本的な考え方」、「情報セキュリティ対策」及び「新型コロナに感染した場合の対応等ルールの明確化」の整備を図った。

また、令和4年3月に外部委員1名を加えた「コンプライアンス委員会」を開催し、令和3年度における問題事案の発生はなかった旨を確認するとともに、結果を理事会に報告した。

職員研修については、文化庁や自治体国際化協会等の外部研修（オンライン）に参加した。

(3) JICA国際協力推進員の配置

当協会とJICA（独立行政法人国際協力機構）が連携して県民の国際協力活動を促進するため、JICA東北支部との協定により、令和3年度も協会内にJICAデスクを設置し、国際協力推進員を継続配置した。

3 寄附金及び賛助会員の状況

寄附金及び賛助会員の状況は、次のとおりである。

(1) 寄附金の受入れ

次の27件 2,085,000円の寄附金を受け入れた。

① 一般寄附金

2件 150,000円

② 協賛寄附金

25件 1,935,000円

(2) 賛助会員の入退会

賛助会員の新規入会を促進するため、令和3年4～6月及び11月に加入促進キャンペーンを行ったほか、年間を通じて、イベント開催時に参加者に賛助会員入会の呼びかけ等を行った結果、令和3年度の新規入会は6件となった。

令和3年度中の入退会の状況は、次のとおりである。

※1名個人会員から学生会員に変更有。

	令和3年3月末	入会	退会		令和4年3月末	増減
			退会届	職権退会		
個人会員	270	3	11	16	245	△25
学生会員	17	1	2	0	17	0
団体会員	47	2	0	0	49	2
合計	334	6	13	16	311	△23

令和3年度事業報告についての附属明細書は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和4年5月

公益財団法人岩手県国際交流協会